

東稲集落（一関市）

【活動のポイント】

- 東稲集落では、地域の田の多くが小区画・不整形な棚田であることや、農業者の高齢化に伴う担い手不足が進行していることから、将来、地域の農地をどのように維持・管理していくかが課題となっていた。

そこで、これまで維持されてきた美しい棚田などの景観や、農地を含めた地域全体を将来にわたり守っていくことを目的とし、平成 12 年に東稲集落協定を締結した。

- 耕作条件が不利であり、加えて高齢化により耕作が難しくなっていく農地をどのように守っていくか協定で話し合った結果、トラクターやコンバインなど、作業に欠かせない農業機械の共同利用を推進するに至った。機械の共同利用により、作業の効率化や農作業の負担軽減につながっている。

- 集落で管理している紙生里棚田、小沼棚田は東磐井の棚田 20 選に選出されており、これら棚田による美しい景観を維持していくため地域ぐるみで管理を行っているほか、平成 28 年には農地の斜面にあじさいの植栽を開始し、地域の景観づくりを図っている。

また、東稲自治会と農家組合、協定が一体となり、毎年秋には収穫祭を開催している。収穫祭では、地域で生産されている農作物が出品され、多くの地元住民で賑わうなど、住民どうしの交流を図るきっかけにつながっている。

- 今後も、機械の共同利用や担い手の確保・育成に努めるとともに、あじさい植栽地の保全活動などにより、東稲集落ならではの景観を守っていく。

さらに、収穫祭などの地域行事を通じて住民に地域農業への親しみを持ってもらい、地域ぐるみで農地の保全や振興を目指していく。



集落位置図

● 対象集落 ● 市役所